

# 会報

通刊71号

# 熊本県日中協会

～さらなる友好の絆を～

平成20年  
9月発行

＜発行＞  
熊本県日中協会  
会長 柏木 明

＜事務局＞  
〒860-0846 熊本市城東町4-2  
熊本ホテルキャッスル2F

Tel096-356-4847  
Fax096-325-2829

## 協会の充実目指し 平成二十年度総会 盛大に開く

平成二十年度の熊本県日中協会総会が七月一日、熊本ホテルキャッスルに七十人が出席して開催されました。

先ず柏木会長があいさつ、続いて来賓の潮谷義子・前県知事、武樹民・福岡総領事、安田宏正・県副知事のあいさつがあり、米満弘之常任理事の議長

り、特に会報の発行を増やす案、協会の活動強化策などの新年度案が提示されました。

今年度の予算は前年度の繰越金も含めて、七百五十八万円余。また、新入会員が紹介され、全議案、満場一致で可決されました。

### 三浦前参議が講演

総会終了後、中国に留学経験がある三浦一水・前参議が「中国 昨日 今日 明日」と題して講演。

中国への理解を一段と深めてもらうため、少しでも多くの情報をご提供できるように、紙面を刷新しました。皆様の日中友好への足がかりになれば、との願いです。また、縦組み・段組みと全面カラー化で、読みやすくなりました。皆様の情報もお待ちしています。事務局まで一報ください。

紙面を刷新しました

### 「新設の部会」

活動推進のため、会員の方はいずれかの部会に入会いただき、部会活動へのご参加をお願いします。

- ◎在熊中国人との交流部会
- ◎文化経済交流部会
- ◎女性部会
- ◎実行協力部会

- 平成20年度事業計画  
主なもの
- ①日中交流の促進及び便宜供与  
防中・訪日、在住中国人の相談等
  - ②会報の内容充実と発行増
  - ③協会の運営活動の強化
  - ④第二十七回熊本春節祝賀会の開催
  - ⑤在熊中国人向け日本語テキストの配布
  - ⑥県中国残留孤児等対策協議会への協力



平成20年度の総会会場(熊本ホテルキャッスル)

四川省大地震

# 募金に百四十八万円

## 協会会員が温かいお見舞い

熊本県日中協会は、五月十二日に起きた中国四川省での大地震で、会員からのお見舞いを募った結果、総額百四十八万円余の募金が集まり、振り込み手数料等を差し引いた百四十四万円余を中国に贈りました。

七月一日の平成二十年  
度総会に先立って行われ  
た贈呈式で、柏木明会長か  
ら駐福岡・武樹民総領事  
にお見舞金の目録が贈  
呈されました。武・総領  
事は「皆さんの温かいお  
気持ちに感謝します。本  
国に大事に届けます」と  
お礼の言葉を述べ、中国  
からの感謝状を柏木会  
長に手渡しました。

### 募金は以下の通り

▽40万円 社会福祉  
法人慈永会（永野義孝）



お見舞金の目録を武総領事に手渡し、握手する柏木会長(総会会場で)

- ▽20万円 熊本工業専門学校学生・教職員一同
- ▽10万円 阿蘇製菓(株)(久木康裕) / 柏木明
- ▽5万円 社会福祉法人くすの实福社会(津留浩輔)
- ▽3万円 日本嵩山少林拳連盟会長(河津政雄) / 熊本空港ビルディング(株) / 日中友好熊本県議会議員連盟(松村昭)
- ▽25,593円 高野病院職員・患者一同
- ▽2万円 熊本第一信用金庫 / 南九州コカ・コーラボトリング(株)(本坊幸吉)
- ▽1万2千円 熊本学園大学(坂本正)
- ▽1万円 前田将 / 川越忠信 / 多田隈祺 / 古閑三博 / 佐藤征紀 / 竹内義雄 / 佐藤武 / 苓北町農業協同組合 / 財団法人熊本県体育協会(永野光哉) / 小山和作 / (株)熊本ホテルキャッスル / 小串照彦 / 田嶋章二(苓北町長) / 鎮西学園 / 県医師会 / 野田毅 / 天草郡市医師会 / 日本少林拳連合總會(宮崎暢俊) / 西田尚史 / 医療法人博光会(富島三貴) / (株)銀染 / J A熊本中央会 / 崇城大学 / 樋島漁業協同組合(桑原千知) / 医療法人社団寿量会(米満弘之) / (株)熊本放送 / 県歯科医師会 / 三浦一水 / 牛嶋弘 / 小野友道 / くまもとの明日を創る会
- ▽その他 (株)秀拓(多良木慶輝、小川浩、田中千穂) / 平川亨 / ANA熊本支社有志一同 / 中野揚子 / 大代純市 / 中野幹夫 / 松崎幸子 / 九州ティ・エス(株) / 澤田一精 / 石倉三 / 西晋輔 / 西葉月 / 岩下俊一 / 二子石信介 / 中尾桂子 / 斉藤直 / 藤本敏明 / 協電機工(株) / 中垣秀夫 / 志谷直彦 / 緒方肇 / 唐津邦利 / 天草慈恵病院(永野忠

- 相) / 倉岳町漁業協同組合 / 田島文博 / 鹿子木二人 / 山田幸美 / 吉津俊子 / 松野憲三 / 緒方健一郎 / 中村繁実 / 上村勝代 / 倉重剛 / (株)熊本ファミリー銀行(河口和幸) / 蔵元外科胃腸科医院(蔵元昭一) / 斉藤万芳 / (株)熊本硅砂鉱業(稲員涉) / 堀義徳 / (株)啓文社(徳永昌二) / 田尻英雄 / 布袋律子 / 三角海運(株)(守田健一) / 木村良子 / J A熊本果実連

## オリンピック 北京オリンピック "最大規模"で 無事閉幕

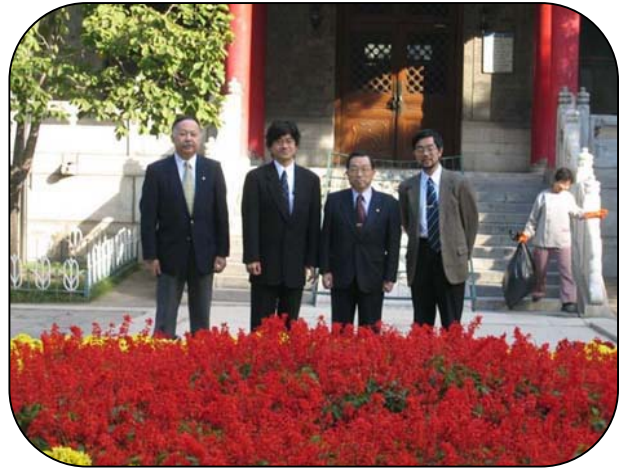
八月二十四日、閉幕した北京オリンピック。204の国と地域から、二十八競技、三百二種目は



北京国家体育場(通称=鳥の巣)の夜景

過去最高。八十カ国以上を数えた各国元首や首脳の開会式参列も最多。聖火リレーの混乱、チベット暴動、テロ予告など、怖いニュースが多かったのも異例。そんな中で、開・閉会式の舞台となった北京国家体育場(スタジアム・通称鳥の巣)は人気の観光スポットになりそうです。三三〇×二二〇mの大きさ、九万一千人収容を八万人に改装、すでにコンサートなど、多数の催しが予定されているそうです。

# 医学が結ぶ日中交流



中国協和医科大学前で、小野友道氏と関係者たち

## 熊大と二十五年続く

### 協和医科大学とシンポジウムも

熊大医学部は中国医学科学院・中国協和医科大学と交流協定を昭和五十八年にむすびました。科学院と協和医科大学とは不即不離の関係にある中国を代表する機関。前者は中国全土の衛生行政と医学研究の要。後者は大正六年に米国ロックフェラー財団の基金で設立の最も古い医科大学です。

昭和五十六年、来日した

た呉階平中国医学科学院院長と林秀男医学部長(当時)の出会いから協定が結ばれ、沢田県知事の厚意で県からの資金援助で、毎年二人の研究者が熊大へ来日しています。

交流協定二十周年を機に医学科学院・医科大学学長の劉博士と小野医学薬学研究部長(当時)との間で「日中交流

## 合意投情

意気投合する



## 百聞不如一見

百聞は一見にしかず

国際生命科学シンポジウム」を定期的に開催することで合意し、現在も交流は活発で、新興・再興感染症などの共同研究を行っています。

(理事・熊本保健科学大学学長 小野友道)



四合院(しごういん)は中国の伝統的な居住様式です。東西南北、四方に部屋が中庭を囲んだ形で、古い北京人やなれた人は四合院と呼んでいます。

一二七九年、北京市が当時、大規模な首都

# 「家族」で囲む 伝統の家造り 北京の四合院

建設を始めたころ、宮殿や役所、横丁などと同時建てられました。

中庭は広々として四面の部屋は独立し、部屋間は渡り廊下で結ばれ、日常生活も便利です。

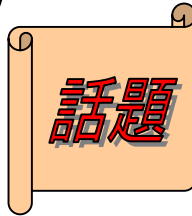
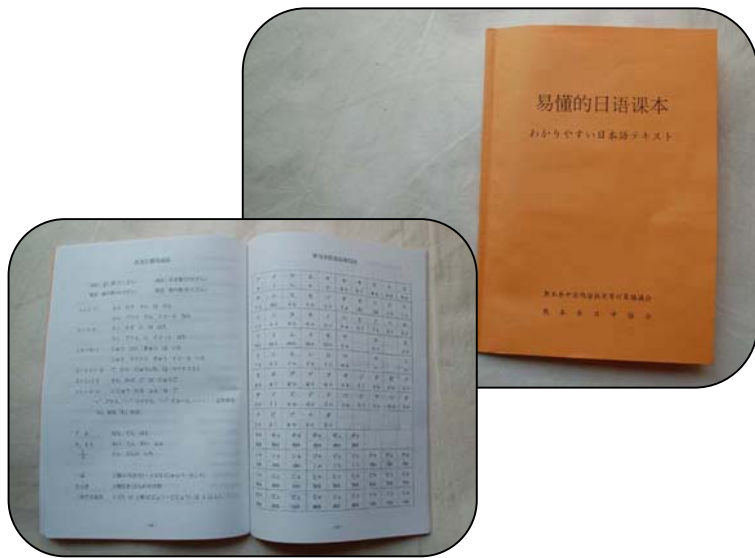
四合院は閉鎖式住宅ですが、反面、プライバシーは守られています。

す。母屋に親、別棟にその子供家族が暮らします。最近、購入して移り住んだ欧米人もいるそうです。政府はこうした文化財保護のため、対策を講じているそうです。(会員・東方中国語学院院长 東方恵子)



四合院の中でも豪華な邸宅

# 「翻訳 熊本版」 このほど完成



## このほど完成した日本語テキスト

熊本県と熊本県日中協会、このほど、わかりやすい日本語のテキスト「翻訳 熊本版」を刊行しました。その名も題して中国語で「易懂的日语课本」。

熊本県と熊本県日中協会は、このほど、わかりやすい日本語のテキスト「翻訳 熊本版」を刊行しました。その名も題して中国語で「易懂的日语课本」。

この本の編集・製作には県中国残留孤児等対策協議会から委嘱を受け、中国帰国者自立指導員として、A4サイズ、九十九頁からなるこのテキストには日本語の特徴や発音の要点、日常会話でよく使われる言葉、慣用句などが、項目ごとに細かに掲載されています。「こすか」は狡猾、なかでも腐心されたのは、「熊本」の方言。従来の辞書にはないものを的確な中国語に表現。例えば「こすか」は狡猾、「しこたま」は非常、「やおいかん」は不容易といった具合。また、外来語で悩む帰国者、特に高齢者も多くカタカナ表記の外来語を中国語に翻訳した単語は約千八百にもおよびます。同協議会では、このテキストを希望する帰国者に無料で配布、研修生や留学生、国際結婚などで熊本に住んでいる中国人の方に一冊三百円でお譲りしています。

県日中協会事務局で短期研修した  
**劉 洋** さん  
きんぎょ

七月二十二日から八月一日まで、県日中協会事務局へYMCABビジネス学院からの派遣研修でやってきました。



大連の広告会社でデザインの仕事に勤務するも、向学心に燃える劉さん。会社を辞め、中国科技技術進修学院入学、コンピューター技術の腕を磨く。今度は視野を広めたい気持ちで燃え、四年目の卒業目前で退学。両親も劉さんの意欲に押されて、日本行きを認めてくれました。

### 「熊本」は先生の勧め

二〇〇六年四月、「熊本は学ぶ環境がいい」。進修学院の恩師が資料を基に、勧めてくれました。



「中国だけにいたら、井の中の蛙です」。久しぶりに、それも中国人から聞くと。月並みな質問で日本の印象を尋ねると、「治安がいい、水がうまい、住み心地がいい」と用意したかのよう

に返ってきました。さらに、「島国なのに先進国の一員になっていることは不思議なくらいです」。また「よく働

きますね。特に、五十歳台の人が」と感心する。今、劉さんは、得意のパソコンを生かした国際ビジネス人を目指して励んでいます。

### 編集後記

従来の横組みから縦組みへの変更は、大変勇気のいるものでした。文字の大きさにも「最低限」を考慮しました。

情報についてもアンテナを広げて拡充して行く予定です。

今後は中国の世界遺産の紹介や、会員の方の中国旅行の紀行文・スナップ、ことわざ、面白中国語なども予定しています。

この会報が会員皆様方の「紙面交流の場」として充実することを願っています。

こんな情報をといてご希望がありましたら、協会事務局までお寄せください。

(機関紙編集委員会・小串 照彦)